

議会だより

【今月の表紙】美浜町観光スポットシリーズ①

レインボーライン山頂公園

「三方五湖に浮かぶ天空のテラス」をコンセプトに、おしゃれなテラスやカフェがリニューアル



正・副議長あいさつ、議会構成図	2~3
3月定例会 一般会計補正予算概要	4~5
令和2年度当初予算概要	6~7
常任委員会の動き	8~9
議案・採決一覧	10~11
一般質問	12~13

組合議会の動き	14
現地視察	15
議会の動き	15
トピックス	16
編集後記	16

議長あいさつ

議長 竹仲 良廣



このたび、令和2年3月4日開催の定例議会において第37代美浜町議会議長に就任いたしました竹仲良廣です。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。美浜町議会の代表として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでいく所存であります。

今年に入り、中国で発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な拡散により、さまざまな所で都市封鎖、医療崩壊になっております。日本においても多くの感染者が発生しており、これからも拡大が懸念されています。美浜町においても、万全の対策に努めなければならぬと考えています。

さて、美浜町議会においては、開かれた議会を目指し、議会や町の動き等をお伝えするために、本会議中継、議会広報や議会と語ろう会を実施してきましたが、まだまだ開かれた議会となっていないことから、今回、本会議のすべて、各委員会等の状況をライブ映像で配信する方向で協議しています。町民の皆様がいつでも内容を見られるような審議がなされているのかをリアルタイムで見られるように考えています。また、世の中はICT、AI機能を導入してきています。小中学校においても児童生徒一人1台のパソコンを持つ時代になってきており、美浜町議会もタブレット端末などを利用し、多くの情報検索やペーパーレス化を図って行きたいと考えています。

今後とも議会ですっかりと議論を重ね慎重に進めていきたいと考えていますので、町民の皆様のご支援ご支持をいただきますようよろしくお願い致します。

令和2年美浜町議会構成が変わりました

第17期 美浜町議会構成図

議長 竹仲 良廣
副議長 梅津 隆久

議会運営委員会

◎山口 和治
○崎元 良栄
藤本 悟
辻井 雅之
河本 猛
高橋 修

◎…委員長
○…副委員長

予算決算常任委員会

◎梅津 隆久
○高橋 修
北村 晋
兵庫 賢一
藤本 悟
山口 和治
崎元 良栄
松下 照幸
川畑 忠之
辻井 雅之
河本 猛
寺田 順一
仲嵩 正一

総務文教常任委員会



◎高橋 修 ○辻井 雅之



兵庫 賢一 藤本 悟 松下 照幸



梅津 隆久 寺田 順一

副議長あいさつ

副議長 梅津 隆久



この度、3月の定例議会に於いて、2度目の副議長に就任させて頂きました。どうぞよろしくお願い致します。

議会基本条例に基づき、町民皆様のご意見に於けるべく活動し、その意思を町政に的確に反映して参りたいと思います。

日本経済の景気回復は、地方においては実感に乏しく推移している中において、世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症は日本国内をはじめ福井県内に於いても感染者が増加傾向に有り、我が町経済の景気低迷が予想されます。

この様な中で、美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業を進めるべく地域づくり整備計画を進めていますが、議会に於いて町民の皆様のご意見ご要望を反映し町の活性化に繋いで行きたいと考えます。

また、令和5年春の北陸新幹線敦賀開業に向け、三方五湖遊覧船（電気推進船）や観光誘客事業等を担う観光DMOの設立と活動による活性化に支援して行くと共に、原子力の様々な課題の克服と美浜3号機の早期再稼働に努めてまいりたいと思います。

美浜町の将来に夢と希望を持って日々安心して暮らせる町づくりに、議会として取り組んで参りたいと考えています。

町民の皆様のご指導、ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

産業厚生常任委員会



◎仲寫 正一



○河本 猛



北村 晋



山口 和治



崎元 良栄



川畑 忠之



高橋 修

原子力発電所特別委員会

- ◎川畑 忠之
- 山 和治
- 兵 賢一
- 崎 庫元
- 辻 井田
- 寺 順
- 高 橋

議会広報特別委員会

- ◎河本 猛
- 川畑 忠之
- 北 晋
- 藤 村
- 松 本
- 梅 下
- 仲 津
- 寫 正

地域づくり拠点化整備特別委員会

- ◎山 口 和 治
- 仲 寫 正 一
- 藤 本 照 幸
- 藤 本 照 幸
- 松 下 照 幸
- 河 本 隆 久
- 梅 津 隆 久
- 高 橋 修

美浜・三方環境衛生組合議会

- (組合議長) 竹 良
- 北 晋
- 藤 悟
- 山 和治
- 寺 順一
- 高 修

敦賀美方消防組合議会

- (代表者) 川畑 忠之
- 兵 賢一
- 河本 猛
- 仲寫 正一

嶺南広域行政組合議会

- (代表者) 梅津 隆久
- 竹 良

公立小浜病院組合議会

- (常任委員) 辻井 雅之
- 崎元 良栄
- 松下 照幸

福井県後期高齢者医療広域連合

- 竹 良

補正予算（主要事業）

増

7,566万円



令和元年度予算総額 102億1,580万円

要配慮者等屋内退避施設整備事業

整備事業費 3億300万円

中央小学校に整備！

原子力発電所で大きな事故が発生したとき、約30km圏内の区域は、放射性物質の放出等に応じて、屋内退避や避難等の防護措置が必要となります。要配慮者や住民等が避難できないような場合は、放射線防護対策を施された施設に「一時的に避難」することになります。

整備の対象は、国が示した「原子力発電所から半径概ね10km圏内に所在する屋内退避施設」となっており、今回は「美浜中央小学校体育館」に整備します。

収容人員は約200人。整備時期は令和2年度。施設整備予算の約3億円は、国が全額補助します。

空気を浄化する装置を備え、体育館内を高めの圧力にしていますので、外からの空気が入り込むことはありません。

商用電源が失われた場合に備えて「非常用自家発電機」が設置されます。メンテナンスが特に重要です。(松下記)



美浜中央小学校体育館

GIGAスクール整備事業

整備事業費 5,236万円



未来社会を生きる子どもたちへ

Society5.0時代（仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会）を生きる子どもたちにとって、ICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められています。しかし、現在の学校教育におけるICT環境は遅れています。

高速大容量の通信ネットワークを整備し、児童生徒に一人一台端末を実現することで、子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを学校現場で持続させることができます。

子どもたちが豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、未来社会を自立的に生きるための資質・能力を育成していくことが必要です。(山口記)

3月定例会

令和元年度 一般会計

3月補正予算額

予算審議8ページ参照

3億



基金積立

I ふるさと応援基金積立金

5,283 万円

【概要】 ふるさと納税寄附金を財源に、美浜町総合振興計画に掲げる将来像の実現に向け必要な資金を積立てる。

..

II まちづくり基金積立金

1 億 5,000 万円

【概要】 健康で快適なまちづくりに資する事業に必要な資金を積立てる。

..

III 美浜町保健福祉センター 大規模改修事業積立金

8,300 万円

【概要】 美浜町保健福祉センター大規模改修事業に必要な資金を積立てる。

..

IV 美浜町観光振興基金積立金

9,133 万円

【概要】 地域資源を活かした新たな観光振興施策に必要な資金を積立てる。



保健福祉センターはあとびあ



久々子湖

予算 (主要事業)

9,895万円



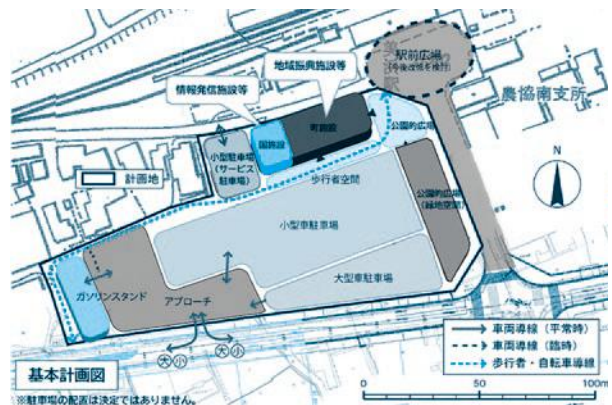
特別会計予算 41億9,906万円

(単位：万円)

主要事項	金額
診療所事業特別会計	13,855
国民健康保険事業特別会計	125,487
後期高齢者医療事業特別会計	12,489
介護保険事業特別会計 (介護保険事業勘定)	123,920
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	423
簡易水道事業特別会計	18,291
集落排水処理事業特別会計	17,241
公共下水道事業特別会計	49,808
産業団地事業特別会計	764
住宅団地事業特別会計	2,061
道路用地取得事業特別会計	55,567



美浜町地域づくり拠点化施設(道の駅)イメージ



上水道事業会計 3億630万円

『地元ファースト』の原則と広域マッチング

◆連携の方向性

地元ファースト

- 民業補完・・・町内で充足しているサービスの尊重
- 地元優先・・・連携に際してまずは町内の企業、個人と共に

広域マッチング

- 内外マッチング・・・まずは県内外と町内との連携マッチング実施
- 定住型誘致・・・町内企業とのマッチングが困難な場合、できるだけ町内人材又は定住者による運営目指す
- リソース補完・・・町内にリソースがない場合に限り、広く県内外の企業・個人を誘致

3月定例会

令和2年度

予算総額

予算審議8ページ参照

当初

128億



一般会計予算 83億9,387万円

歳出予算の内訳（主要事項）

（単位：万円）

款	予算額	主要事項	金額
総務費	143,190	美浜町職員「人財」育成事業 職員（人材）の資質向上を図るとともに、意識改革を促し、行政が果たすべき役割を自ら考え、自ら行動できる職員（人財）へと育成する研修経費	259
		大学との交流連携事業 協力協定等を締結した各大学と継続性をもって課題の洗い出しから解決策の提案、実証実験、事業展開までを複数年度にわたって行い、地域の活性化や交流人口の拡大を図る経費	1,083
		集落づくりサポート事業 集落別対話での意見交換を通して明らかになった各集落の課題を解決するため、また、「地域愛」の醸成を図るための集落や団体に対する新たな支援補助等	1,453
民生費	156,967	子ども・子育てサポートセンター運営事業 子育て世代包括支援センター・子ども家庭総合支援拠点・子育て支援センター・要保護児童対策地域協議会の機能を新たに1カ所に集約し、運営する経費	333
農林水産業費	67,443	農業人材育成拠点整備事業 観光農園及び新規就農者の確保・育成のための研修施設整備にかかる用地取得、実施設計及び整備工事費	28,465
商工費	32,456	三方五湖ゾーン整備事業 令和5年春の北陸新幹線敦賀開業に向け、東京海洋大学とともに共同研究を進めている新たな三方五湖遊覧船（電気推進船）の実証実験を行う経費	3,961
		三方五湖ゾーン活性化事業 今後の三方五湖遊覧船や観光誘客事業等を担う観光DMOの設立と活動に対する支援補助	1,340
土木費	69,378	美浜町スマートコンパクトシティ 魅力創造拠点化事業 「道の駅」整備に向けた用地買収など	40,030
消防費	80,778	防災行政無線整備事業 老朽化した防災行政無線を新たに防災情報伝達システムとして再整備する工事費（継続費）	47,707
教育費	100,970	グランドゴルフ場整備事業 グランドゴルフ場の整備について検討し、実施設計を行う経費	242

ここに注目！

常任委員会の動き

予算決算
常任委員会

付託案件20件

◎令和元年度美浜町一般会計補正
予算(第5号)について

問 観光振興基金積立金の9133万円は、電池推進船などのハード面(建物・機械など)に使うのか。

答 船の発着場所等の整備に活用されると考える。

問 GIGA(ギガ)スクール整備事業について、校内の通信ネットワークはどのように改善されるのか。

答 国の政策で、子どもたちがグローバル社会を生きていくために必要な環境を整備する。将来的には1人一台の端末を使用できるように、5年かけて約600台程度整備したい。

◎令和2年度美浜町一般会計予算(第11号)歳出について

〈総務費〉

問 町職員の「人財」育成事業(259万円)は、どのような

人材を育てようと考えているのか。

答 自ら考え自ら行動できる人材を育成したい。これまでは本人の希望に基づき研修等に参加していたが、今後は行政機関からも人選し、人材を発掘したい。

問 大学との交流連携事業(1083万円)について、大学とのフィールドワーク等を通じて得た事業に繋がる政策や研究課題をどのように活用するのか。

答 現在大学と協議中である。集落の課題解決などについて、何ができるか話をしている段階である。

問 集落づくりサポート事業(1453万円)は、地域の伝統文化活動にも使用できるのか。

答 幅広く集落の課題に対応していく上では主旨に合致する。

〈民生費〉

問 子ども・子育てサポートセンター運営事業(333万円)は、18歳未満の者までが対象と幅が広い。どのような人員体制で対応するのか。

答 妊娠期から子育て期を経て、18歳までと幅が広い。保健師や児童相談員、社会福祉士を配置する。町の職員で対応出来ない場合は、外部委託での支援体制を整えたい。

〈農林水産業費〉

問 農業人材育成拠点整備事業について、イチゴハウスが計画されているが、現場を担う生産者が「イチゴ」を生産したいと希望しているのか。

答 生産支援でイチゴハウスを考えているわけではない。消費者を意識しながら生産できる人材の育成のために観光農園をつくりたい。比較的収穫期間が長く、接客スキルを身に付ける機会が多くなると考え「イチゴ」を選択した。

〈商工費〉

問 三方五湖ゾーンの整備事業(3961万円)について、電池推進船のリチウムイオンバッテリーの費用は、陸上のソーラー発電設備の蓄電部分を含んでいるのか。

答 船単独であり、陸上部分は含んでいない。

問 三方五湖ゾーン活性化事業(1340万円)について、観

光DMOは、町の観光全体を考える組織であるべきだが、三方五湖ゾーンだけに特化した組織になるのか。

答 電池推進船の運航をDMOに委託する話が目立つが、DMOは、三方五湖周辺をはじめとした町全体の観光を考え、魅力アップを実践する組織である。

〈土木費〉

問 美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業(4億30万円)について、PFI事業は、事業者と本契約を交わした後に、用地取得を行うものなのか。

答 通常は用地取得を先に進めることが多い。しかし、PFI事業は、本契約の締結が事業認定の要件になっているため、本契約後でないと用地取得ができない。

〈教育費〉

問 グラウンドゴルフ場整備事業は、西郷健康広場付近を前提に計画するのか、別の場所も考えているのか。

答 グラウンドゴルフ協会、スポーツ協会、老人会、観光協会等で検討委員会的な組織を立上げ、決めていきたい。(梅津記)

成年被後見人も印鑑登録ができる

◎美浜町印鑑条例の一部を改正する
条例の制定について

問 被後見人は、後見人が同席すれば印鑑登録ができるのか。

答 そうである。例えば財産分割等の場合は印鑑証明が必要である。その緩和措置として、被後見人に判断能力がない場合でも印鑑登録の意思があり、後見人が同席した場合は印鑑登録ができるようになる。

負担金、実情に沿って見直し

◎美浜町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について

問 美浜町の負担金は、嶺南市町の中でどのレベルにあるのか。

答 おおい町は月額2千円程度、敦賀市と美浜町はほぼ同じで月額4千円程度、若狭町と小浜市は月額5千円〜6千円程度である。

問 放課後児童クラブの定員は、各小学校とも35人である。希望人数に偏りがある場合には、学校間の移動ができるのか。

答 夏休み利用については、ひとつのクラブに40人を超す応募がある。高学年に限り保護者の同意

を得て、定員に余裕のある施設に移っていただいている。



付属機関として委員会を設置

◎美浜町エネルギービジョン推進委員会条例の制定について

問 なぜ今設置なのか。

答 これまででは要綱によって同様の委員会を設置してきた。改めて条例を制定して取り組みたい。

問 エネルギー課題に限定せず、SDGs（持続可能な開発目標）など、総合的な課題への取り組みが必要ではないか。

答 急速な社会環境の変化があるため、広い視点を持ち進めていく。
(高橋記)

産業厚生
常任委員会

センター設置に伴う規定の整備

◎美浜町保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 感染症対策やセキュリティの強化についての考えを伺う。

答 アルコール除菌や手洗いを継続してやっていく。高齢者や幼児のことを考えてバリアフリーになり、子どもが接触しそうな壁面部分をやわらかい材質で改修した。

入居要件の緩和

◎美浜町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

問 入居要件の緩和の第11条に記載の「連帯保証人の確保が困難である理由から、現行の連帯保証人の要件から『町内に居住している』要件を削除すること、連帯保証人は、日本国内のどこでもいいということになるのか。

答 連帯保証人が国内にいれば入居の手続きができるようになる。

協議会を設置
◎美浜町子ども・子育て会議条例の制定について

問 必要なのは、困難を抱えている当事者や社会的立場の弱い方の意見である。当事者の経験を生かせるような方を選ぶべきではないか。

答 現在のメンバーの中には障害者を持っていて子どもを保護者の方がおり、意見を聞いている状

況である。

観光施策に必要な積み立て

◎美浜町観光振興基金条例の制定について

問 三方五湖周辺の観光振興施策ということは、レークセンターや観光DMO関係の積立基金になるのか。

答 主にハード整備ということになる。観光DMOについて、この基金を使うということは考えていない。

「道の駅」、特別目的会社と事業契約

◎美浜町地域づくり拠点化施設整備事業契約について

問 協力企業に記載されている「塩浜工業」は、国、県、町から税金が投入される公共事業の請負う建設会社である。一般的な企業と比べて高い説明責任や法令順守が求められるが、町の考えを伺う。

答 現時点では、法令違反というものが確定されたものではない。今後、法令違反ということがあった場合は、「美浜町工事等契約に係る指名停止等の措置要領」等に基づき、厳正に処分することになる。
(仲寫記)

3月定例会 議案

	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ		
議案第 3 号	令和元年度美浜町一般会計補正予算(第5号)	<予算決算>	可決	P4・5・8		
議案第 4 号	令和元年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第2号)		可決			
議案第 5 号	令和元年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		可決			
議案第 6 号	令和元年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)		可決			
議案第 7 号	令和元年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決			
議案第 8 号	令和元年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決			
議案第 9 号	令和元年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決			
議案第 10 号	令和元年度美浜町産業団地事業特別会計予算		可決			
議案第 11 号	令和2年度美浜町一般会計予算		可決		P6・7・8	
議案第 12 号	令和2年度美浜町診療所事業特別会計予算		可決			
議案第 13 号	令和2年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算		可決			
議案第 14 号	令和2年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算		可決			
議案第 15 号	令和2年度美浜町介護保険事業特別会計予算		可決			
議案第 16 号	令和2年度美浜町簡易水道事業特別会計予算		可決			
議案第 17 号	令和2年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算		可決			
議案第 18 号	令和2年度美浜町公共下水道事業特別会計予算		可決			
議案第 19 号	令和2年度美浜町産業団地事業特別会計予算		可決			
議案第 20 号	令和2年度美浜町住宅団地事業特別会計予算		可決			
議案第 21 号	令和2年度美浜町道路用地取得事業特別会計予算		可決			
議案第 22 号	令和2年度美浜町上水道事業会計予算		可決			
議案第 23 号	美浜町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について		<総務文教>	可決	P8	
議案第 24 号	美浜町行政不服審査関係手数料条例及び固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について			可決		
議案第 25 号	美浜町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決				
議案第 26 号	美浜町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について	可決		P9		
議案第 27 号	美浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決				
議案第 28 号	美浜町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	<産業厚生>	可決	P9		
議案第 29 号	美浜町保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決			
議案第 30 号	美浜町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について		可決			
議案第 31 号	美浜町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決			
議案第 32 号	美浜町エネルギービジョン推進委員会条例の制定について	<総務文教>	可決	P9		
議案第 33 号	美浜町子ども・子育て会議条例の制定について	<産業厚生>	可決	P9		
議案第 34 号	美浜町健康づくり推進協議会条例の制定について		可決			
議案第 35 号	美浜町観光振興基金条例の制定について		可決		P5・8・9	
議案第 36 号	美浜町地域づくり拠点化施設整備事業契約について		可決			
議案第 37 号	美浜町福祉支援センターあいばる(生活支援)の指定管理者の指定について		可決		P6・7・8・9	
議案第 38 号	美浜町福祉支援センターあいばる(発達支援)の指定管理者の指定について		可決			
議案第 39 号	美浜町丹生漁港環境広場の指定管理者の指定について		可決			
議案第 40 号	美浜町課設置条例の一部を改正する条例の制定について		—			可決
同意第 1 号	美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		—		同意	
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		—		可決	

略称 <予算決算>・・・予算決算常任委員会 <総務文教>・・・総務文教常任委員会 <産業厚生>・・・産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載(○賛成 ×反対 一欠席 □退席)※議長(竹仲良廣)は採決に加わりません。反対または退席があった議案だけ載せています。

	仲 崙	高 橋	寺 田	梅 津	河 本	辻 井	川 畑	松 下	崎 元	山 口	藤 本	兵 庫	北 村
議案第 3 号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 10 号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 11 号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 21 号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 34 号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 35 号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 36 号	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○

討 論 概 要

- ◎議案第3号 令和元年度美浜町一般会計補正予算(第5号)
- ◎議案第35号 美浜町観光振興基金条例の制定について

【反対討論】

電池推進船、レークセンター建設は無駄なハコモノになる。(河本議員)

- ◎議案第11号 令和2年度美浜町一般会計予算
- ◎議案第21号 令和2年度美浜町道用地取得事業特別会計予算

【反対討論】

現在の経済状況においては、「道の駅」の施設整備、電池推進船の事業を中止し、町民の支援強化に財政資金を投入するべきである。(河本議員)

◎議案第36号 美浜町地域づくり拠点化施設整備事業契約について

【反対討論】

原発の闇、政治と金の社会問題の中心に「塩浜工業」が協力会社として明記されている契約議案は認めない。(河本議員)

令和元年度 一般会計補正予算 5億2,248万円増を可決 予算総額 98億4,013万円

2月臨時会 議案

	件 名	議決結果
議案第 1 号	令和元年度美浜町一般会計補正予算(第4号)	可 決
議案第 2 号	電池推進実証船建造工事請負契約について	可 決
—	仲崙正一君に対する懲罰の件(懲罰を科さないことについて)	可 決 (科すべきではない)

賛否が分かれた議案

議席順に掲載(○賛成 ×反対 一欠席 □退席)※議長(崎元良栄)は採決に加わりません。反対または退席があった議案だけ載せています。

	仲 崙	高 橋	寺 田	梅 津	河 本	辻 井	川 畑	松 下	山 口	藤 本	兵 庫	北 村	竹 仲
議案第 1 号	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
議案第 2 号	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
懲 罰	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○

2月臨時会の報告

討 論 概 要

- ◎議案第1号 令和元年度美浜町一般会計補正予算(第4号)

【反対討論】

美浜町地域づくり拠点化施設整備事業(「道の駅」)の債務負担行為の前倒し延長は認めない。(河本議員)

- ◎議案第2号 電池推進実証船建造工事請負契約について

【反対討論】

再エネ活用事業としての有益性はほとんどない。(河本議員)

- ◎仲崙正一議員に対する懲罰の件(懲罰を科さないことについて)

【反対討論】

仲崙議員の反省を受け止め、議会の品位を保持するために、公開の議場における戒告の懲罰を科すことが妥当である。(河本議員)



河本 猛 議員

「道の駅」施設整備は見直し、再検討を行うべきだ！

「道の駅」施設整備事業と優先交渉権者のグループに記載されている協力会社「塩浜工業」について

問 町長は、収支報告書に記載のない現金を受け取ったことがあるか、ないか伺う。

町長 そういった事実はない。

問 町長は、「塩浜工業」が「道の駅」の施設建設を担う協力会社として適切だと考えているのか。

町長 現時点においては、疑惑の段階と理解している。確証のないものをもって、適切であるか不適切であるかということとは述べられない段階ではない。

問 町長や行政が「塩浜工業」を協力会社にするように便宜を図ったような事実はないか。

町長 便宜を図ったような事実はない。

問 PFI事業の制度として、口利きや便宜が図りやすく透明性に欠け、不正を見つけにくいものになっていないか。

土木建築課長 PFI法に基づき内閣府が進めている手法である。PFI事業は複数の機関によって多方面の分野にわたり監視できる体制がとられているが、民間同士の経済活動にまで及ぶものではない。

意見 民間の企業が公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う上で最も大切なのは、企業のブランドイメージである。

美浜町の「道の駅」建設を、原発の闇、政治と金という社会問題、その疑惑の中心となっている「塩浜工業」に任せて大丈夫なのか。「道の駅」の運営を始める前から社会的なマイナスイメージがつきまとい、特別目的会社の代表企業の本業のブランドイメージまで低下させることになるのではないかと。「公正な競争環境が阻害され、新たな官民癒着を生じさせる」可能性が高いPFI事業、社会問題である原発の闇、政治と金の疑惑の中心となっている「塩浜工業」について、見直し、再検討もせず「道の駅」建設を進めるのは、暗雲立ち込める中に町民を巻き込んで

飛び込むようなものだ！「道の駅」施設整備は見直し、再検討を行うべきだ！

子育て教育は美浜で！子ども医療費助成制度の対象年齢の引き上げについて

問 子ども医療費助成制度について、福井県が、令和2年9月からその対象を中学校卒業まで引き上げるという方向性を示している。

この動きにあわせて、県内の各市町では、子ども医療費助成制度の対象年齢を中学校卒業から高校卒業まで引き上げる自治体が出てきている。

美浜町は、子ども医療費助成制度の対象年齢の引き上げについてどのように考えているのか。

町長 できれば令和2年度の秋ごろの実施に向けて検討していきたい。

問 敦賀市は「子育て環境日本一」を掲げている。経済圏である敦賀市に移住定住の魅力まで差をつけられたら、美浜町に何が残るのか。

敦賀市よりも、「子育て教育は美浜で！」と移住定住を考えたくなる環境整備が必要だ。

福祉課 4月には、保健福祉センター「はあとぴあ」内に、子ども子育てサポートセンターを新たに設置する。

保護者の孤立を防ぎ、子育ての悩みや保護者自身の悩みを抱え込むことがないよう、身近で気軽に相談できる仕組みと体制の構築や子育て支援に関する情報発信の強化、また、妊娠から出産、乳幼児期から学童期を経て大人になるまでの間、切れ目のない継続した支援を行っていききたい。安心して子どもを産み育てることが出来る環境づくり、子どもの育ちを地域全体で温かく応援できる仕組みづくりなど、この町で子育てしたくなるような魅力あるまちづくりを積極的に進めていきたい。

正職員で採用枠を増やすべき美浜町の障害者雇用の状況について

問 障害者の自立、平等な権利が保障されるように、正職員で採用枠を増やすべきではないか。

総務課 障害者が働きやすい環境づくり、職場づくりということ、職種で勤務条件が合えば、積極的に採用する方向で進めていきたい。



川畑 忠之 議員

**美し美浜のさらなる前進を！
町長の実績と成果について**

(1)町長就任1年目の成果は

問 第6代美浜町長に就任され、町民が地域愛にあふれ、本町に暮らす喜びと幸せ、誇りを実感するまちづくりを進めてこられたが、1年たった成果をどのように捉えているのか伺う。

町長 町民一人一人が、まちづくりや集落づくりに参加してもらったことが、活気があり魅力のあふれる美浜町の実現にとつての大きな力になると考えている。そして、できるだけ民意を受けとめ、町の実情を知ってもらうために、就任後の7月より、町内、各集落、また、各団体、地域を対象に、「地域あいあいほっとミーティング」を開催してきた。延べ43回、約1100人と対話をしてきて、少子高齢化や人口減少、町の現状と町や集落が将来的に直面する課題を示し、町政や集落づくりへの関心を深め、まちづくりや集落づくりへの積極的な参加に繋がるきっかけづくりになったと考える。

意見 町長のこの1年は、町民が集落参加するきっかけづくりになったと考える。これからは、町民が積極的に参

加しやすい施策の取り組みに期待する。

(2)町民ファーストについて

問 町長は、「住んでいることに幸せ」と誇りを実感できるまちづくりを展開して、町民ファーストを实践するものである」と言っている。この町民ファーストの考えを伺う。

町長 目指す町民ファーストとは、町民目線で町民ニーズを取り入れながら、町民に幸せと誇り・夢と希望を実感してもらおうことを最優先に、まちづくりを進めていくことだと考えている。

まちづくりの基本理念に3つの柱を掲げたが、そのうちの2つの「住んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくり」「夢と希望・活気あふれる産業を育むまちづくり」、これを実現することが町民ファーストの成果につながるかと考えている。

意見 町長の必要な対話を決していとわず、汗をかくことを惜しまず、みずから与えられた全てを捧げ、誠心誠意町政のかじ取りに臨む覚悟であることが、よく理解できた。いよいよ2年目に入るが、地域愛にあふれた、美し美浜の実現に向けさらなる前進を期待する。

**愛と感動のある教育の前進を！
教育長の実績と成果について**

(1)教育長が見る人権教育の成果は

問 教育長は、美浜町の教育大綱の基本理念は、個性と能力を伸ばし夢を実現するひとづくりであると、また、愛と感動のある教育の視点から

アプローチをしていきたい、と述べている。また、美浜町の教育のベースは、ほぼ半世紀に渡って実践してきた人権教育にあると捉えている。このことを踏まえ、教育長は人権教育の成果について、どのように考えているのか伺う。

教育長 美浜町の教育の根幹は、人権教育にあると捉えている。美浜町には、美浜町人権教育研究会という組織があり、保育園、小学校、中学校の教職員の全てが会員として、人権に対する正しい認識を持ち、人権を尊重し、差別をなくそうとする意欲と能力を備えた人間の育成を達成するべく研究を実施している。

平成30年度の学校評価アンケートの結果では、93%の児童が「学校生活が楽しい」、また、92%の児童が「自分や周りの人を大切にしている」と回答している。一人一人の子供、つまり個と集団、学級集団、学校全体の集団が、人権教育を高めていけることを研究して、日々継続的に取り組みを進めている。これが、半世紀にわたり実践が蓄積されてきた美浜町の人権教育の成果であると捉えている。

(2)小学校英語教育の成果は

問 本町の小学校における英語教育の成果をどのように考えているのか伺う。

教育長 小学校が再編された平成28年度からは、各小学校にそれぞれ1人のALTを配置してきた。英語の教科化に向け教職員の意識を高めると同時に、何よりも子供たちの身近に、外国の先生がいて、イングリッシュシャワーを日常的に浴びせ続ける環境

をつくってきた。子供たちに英語の授業に関するアンケートを実施したところ、「英語の時間は楽しい」との回答が85%、また、「外国の人にどこかで出会ったら英語で挨拶ができる」といった回答が89%と高い数値を示しており、抵抗なく楽しく学んでいる様子が見える。あわせて、幼少時代から英語になれ親しむことができる環境づくりのために、各保育園にもALTが出向いている。これからは、生徒に対して、英語と触れ合う、英語が楽しいと思える授業を継続して実施していきたい、話すに加え、読む、書くが加わり高度な事業が求められているので、ステップアップさせるため、ALTの配置方法も、1校1名に固定せず、各校をより機動的に・効率的に連携させ、複数のALTと接する機会を増やす取り組みを強化したいと考えている。

意見 美浜町は、県内に先駆け、英語の教科化に取り組んでいる。どこよりもいち早く取り組んでいることに喜びを感じている。美浜町の英語教育は、未来を見据え、先進地としての教育方法であり、美浜町の発展に欠かせないものと感じた。これからのさらなる取り組みに期待する。

教育長の自分自身の教育の基本である、愛と感動のある教育を大事にして実践してきたことがよく理解できた。教育長のすばらしい人間性がさらにで、今後も美浜の教育はすばらしいと、美浜の子供たちはすばらしいと思われるような教育指導を心がけ、さらなる前進を期待する。

組合議会の動き

嶺南広域行政組合議会

3月24日、令和2年第1回定例会が開催され、3議案の審議を行いました。すべての議案が可決されました。

◎第1号議案 令和元年度一般会計補正予算(第一号)

歳入・歳出それぞれ5377万6千円を追加し、予算総額10億3445万3千円とするものです。主な要因は、県からの核燃料税交付金の増加です。嶺南地域振興促進基金に5258万6千円を積立ています。

◎第2号議案 令和2年度一般会計予算

歳入・歳出それぞれ9億1609万1千円とするものです。観光振興や企業誘致など、嶺南地域の発展を図るために、「JR小浜線の利用促進や「活力あるまちづくり」に向けた嶺南各市町の取り組みを支援するもの

です。

◎第3号議案 嶺南鉄道整備促進基金の設置および管理に関する条例の一部改正について

鉄道を含む公共交通等の整備や利便性の向上、地域の振興に活用するため、基金の設置目的を変更するものです。(梅津記)



敦賀美方消防組合議会

3月24日、第1

回敦賀美方消防

組合議会が行われ

ました。「令和元

年度一般会計補正

予算」、「令和2年

度一般会計予算」、

「消防組合職員の

配偶者同行休業に

関する条例制定」

の3議案を審議し、

全ての議案が可

決されました。

「令和2年度一般会計予算」の総額は、27億77万2千円です。職員146名の人件費、消防団員761名の定期職務報酬のほか、消防指令センター管理運営費、消防活動費などが計上されています。

美浜町では、消防団第1分団第1部に消防車、美浜消防署に災害対応特殊救急車が配置される予定です。

大規模化、多様化する災害に対して、消防の役割はますます大きくなっています。地域防災力の強化、知識・技術の習得、住民に信頼される消防職員の育成が求められています。(兵庫記)



公立小浜病院組合議会

3月26日、令和2年度第1回小浜病院組合議会が行われました。

令和2年度公立小浜病院組合議会事業会計予算、(公立小浜病院81億9045万円、アクール若狭7億1603万円、レイクヒルズ

三方病院11億2810万円)他4

議案および追加議案の「任期満了に

伴う教育委員会委員の任命」につ

いて審議しました。全ての議案が全

員賛成をもって可決されました。

昨年度の前期は、公立小浜病院組

合管内事業において赤字削減の努力

が見られました。しかし、後期は小

浜病院の内科ドクターの転出・退職

等があり、赤字解消等の目標値に届

きませんでした。

医師の確保

は喫緊の課題

です。病院側

の苦労も見え

ますが、医師

数等の現状は

維持して頂き

たいと考えま



現地視察

◎原子力災害制圧道路が完成

長年の念願であった、佐田竹波敦賀線の一連の道路整備が完了しました。

この事業は、原発事故時に緊急車両がすぐに到着でき、住民の避難道路にもなる「原子力災害制圧道路」として整備が進められたものです。昨年3月に先行的開通していた北田口から菅浜間2・1キロと今回菅浜竹波間を合わせ、全5・1キロが開通したことになります。

総事業費は130億円、海岸沿いのカーブが多く大雨の際に土砂崩れにより通行規制が度々発生していた区間が「菅浜黒藤トンネル」等のバイパス整備によって、安全に走行できるようになります。

(北村記)



◎関西電力(株)美浜発電所へ

3月17日、美浜発電所の視察研修を行いました。

現在、美浜発電所では、1・2号機が廃止措置工事、3号機で再稼働に向けた安全性向上対策工事を実施中です。

当日は、今年7月の工事完了を目指して工事を進めている3号機の安全性向上対策工事のうち、竜巻対策工事や電源の多重化対策として実施した空冷式ディーゼル発電機の設置状況などについて視察しました。

また、原子炉格納容器近傍にあった土の高台に替えて、地震に強い鉄骨とコンクリート造りの構台が設置された場所も見ることができました。

(藤本記)

議会の動き



嶺南広域行政組合 長野県視察



関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会 もんじゅ視察



レインボーラインリニューアル記念セレモニー

祝 佐柿・郷市線耳川橋 開通

町道佐柿・郷市線耳川橋の開通式典を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。耳川橋は平成28年10月に着工し、今年4月4日に開通しました。

平成29年に入学した中学生は、一度も橋を通らずに卒業することとなりました。町民にとって、長きにわたり待ちに待った耳川橋開通です。子どもたちの通学、町民の生活拠点を結ぶことができうれしく思います。(崎元記)



開通した耳川橋

小 中 学 校 卒 業 式



中央小学校



東小学校



西小学校



美浜中学校

国内外で、新型コロナウイルスの患者数が日を追って増加しています。

政府は、感染拡大を防ぐために、3月2日から春休みに入るまで臨時休校するよう要請を出しました。そのため、各学校の卒業式は規模を縮小しての実施となり、議会議員は出席することができなくなりました。一刻も早く終息することを望みます。(寺田記)

編集後記

議会広報特別委員会は2年の任期を終え、3月定例会で新しい委員が決まりました。

議会の「見える化」は必須の課題です。情報公開、議会ホームページ改革について検討を進めていきたいと思えます。

「議会だより」は町民のみなさんが議会を知るきっかけになるものです。「議会だより」を通じて、議会ホームページや各議員が発信するSNS・ブログなど、より情報量が多いコンテンツにアクセスしたくなるような紙面をめざしていきます。(河本記)



美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 河本 猛
- 【副委員長】 川畑 忠之
- 【委員】 北村 晋・藤本 悟
- 松本 照幸・梅津 隆久
- 仲島 正一